

松ちゃんと学ぶ



もっと良い入院管理を！

- もし重症患者を任されたら？ -

A 呼吸速くて来院した心原性肺水腫のチワワ



治療開始から数時間後。。

どちらのチワワが経過良い？

40%酸素室でSpO₂:95%



40%酸素室でSpO₂:95%



治療開始から数時間後。。

呼吸数 100 回/分 + 40% 酸素室でSpO₂:95%

がんばらないと苦しいので寝れない！



治療開始から数時間後。。

呼吸数 36 回/分 + 40% 酸素室でSpO₂:95%

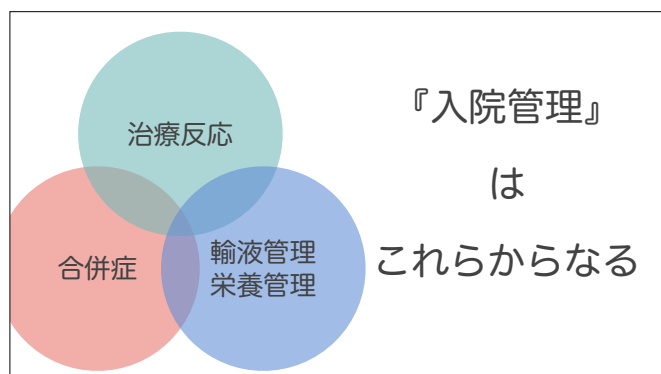
落ち着いて寝れている



機械や数字ではわからない

『気づき』が動物を救う





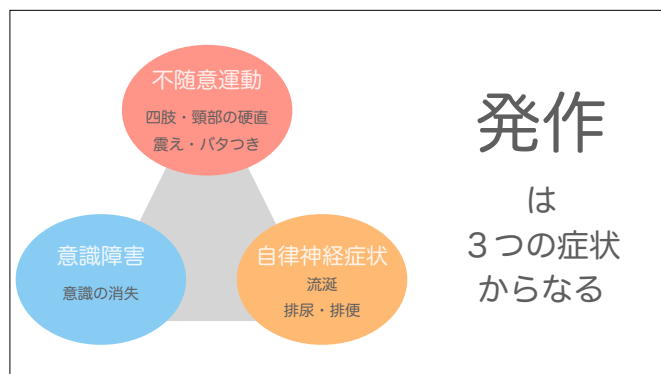
治療開始から数時間後。。

どちらのチワワが経過良い？

40%酸素室でSpO₂:95% 40%酸素室でSpO₂:95%

治療反応がある？ない？

トリアージでみられた異常が良くなってるかどうか





喉の周りに涎が溜まる



誤嚥の原因に！

溜まった涎やフードは拭き取ろう



乾綿+鉗子



カテーテル+サクション

発作の管理には体位が大事



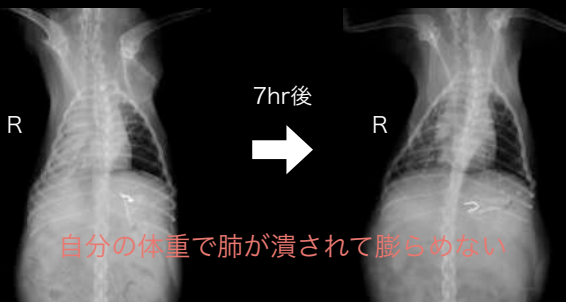
頭部を30°高くすると
脳圧が有意に低下

+

頸静脈を圧迫しない



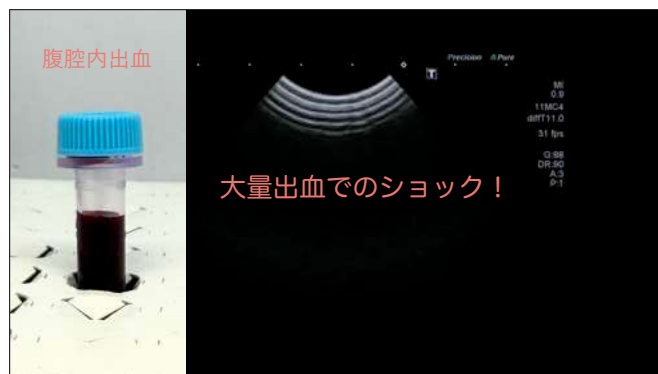
寝たきりの子は体の向きを変えてあげよう



ケアーンテリア

14歳 オス 6.0kg

食欲不振、嘔吐、下痢



ショックの輸液は通常の10倍入れる！

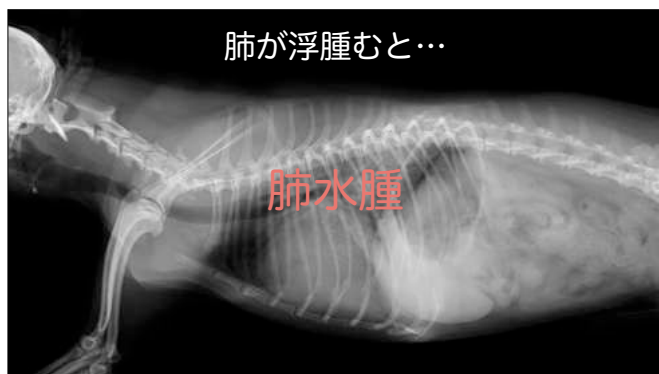
犬 15~20分かけて 10~30ml/kg × 1~3回 	猫 15~20分かけて 10~20ml/kg × 1~3回 
--	---

輸液をしすぎると体はどうなる？

むく
浮腫む

だっすい
脱水する





水を入れすぎないためには
ショックが治ったサインを
 見逃さない！

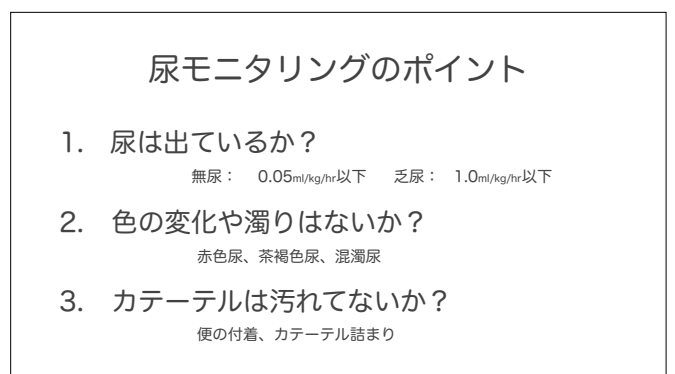
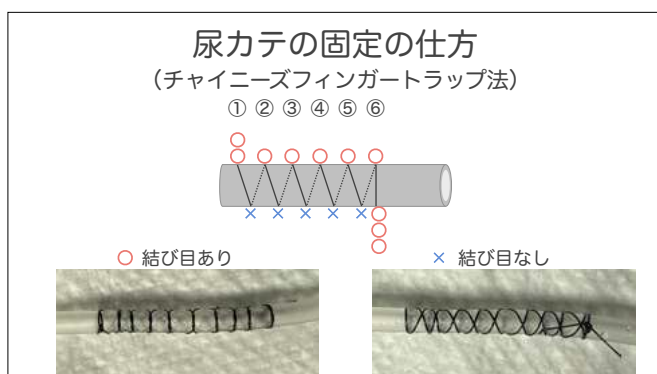
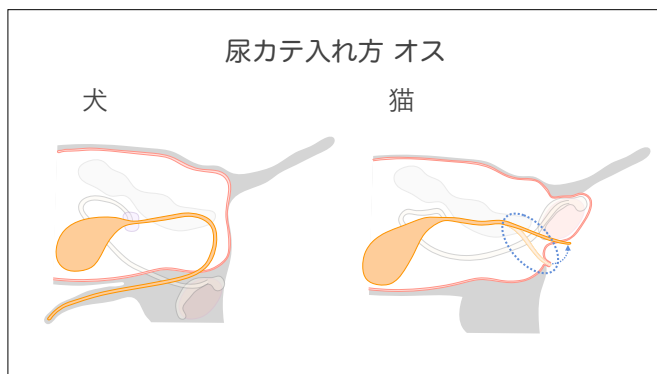


ショックが治ったサインを見逃さない！

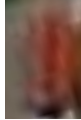
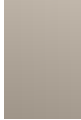
● 可視粘膜色：蒼白	▶ ピンク
● 四肢末端の冷感	▶ 正常
● CRTの延長	▶ 1~2秒
● 頻脈・徐脈、低血圧	▶ 正常

 が改善





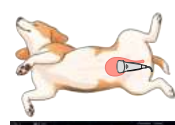


赤色尿	茶～褐色尿	混濁尿
 	 	 
血尿 血色素尿 筋色素尿 薬剤性	ビリルビン尿 血色素尿 筋色素尿	白血球 赤血球 結晶 円柱



エコーで尿量がわかる




尿量 ml = 長さ × 深さ × 幅 × 0.62



点滴じゃ
栄養は取れない…

栄養が足りないと…

健康な動物	病気の動物
	
脂肪を燃料に エネルギー作る	筋肉を燃料に エネルギー作る

筋肉が減ると…

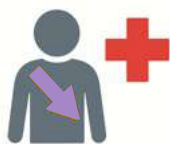
筋力低下



免疫力低下



治癒力低下



必要なカロリー量

RER : 安静時エネルギー要求量

(Resting Energy Requirement)

$$\begin{aligned} \text{RER (kcal/day)} &= \text{① } 70 \times (\text{体重}_{\text{kg}})^{0.75} \\ &= \text{② } (30 \times \text{体重}_{\text{kg}}) + 70 \end{aligned}$$

『 RER = 70 × (体重_{kg})^{0.75} 』の計算法

体重 5kg の場合



左下の マークから
科学計算を選ぶ



体重を打ち込み
 を選ぶ



0.75 と打ち込む



×70 して

栄養管理必要なサイン

食欲低下が5日以上

頻回の嘔吐・下痢

BCS:4/9以下

筋肉減少あり

3日以内に回復しそうにない

+

体重減少

低ALBあり

栄養管理の方法

経口



経鼻カテ



食道カテ



胃瘻チューブ



急な給餌は悪いことも

嘔吐・吐出

電解質異常

低K 低P 低Mg

必要量の25%から開始

2~3日かけて必要量に



誤嚥性肺炎

ぐったりの動物は
上手に嚥下ができない…

寝たきりの動物は
涎や吐物が気づかぬ間に
肺に流れ込む…

